

南相馬市の地域公共交通を取り巻く背景と課題

本市は、少子高齢社会の進行に伴う交通弱者の移動手段の確保に加えて、中心市街地活性化や周辺市街地へ寄与し活力ある持続可能なまちづくりの実現、環境問題への対応など、幅広く公共交通が果たすべき役割、重要性を理解するとともに、市民の日常生活における社会参加を支援する公共交通の維持・確保に努める事の必要性を掲げ、本市の公共交通が抱えている地域固有の課題を明確にし、地域公共交通の活性化及び再生のための地域における主体的な取り組みと創意工夫をしながら、以下の事業を展開する。

平成21年度に実施予定の事業概要

実証運行に関する取り組み(右図参照)

○おだかe-まちタクシーの運行区域拡大

- ・原町区南部(8行政区)の交通空白地への対応として、「おだかe-まちタクシー」の現行運行エリアに「原町南部線」を導入。

○小高区から原町区内の病院等へのシャトルバスを運行

- ・小高区民から要望が高い、小高区から原町区内の医療施設へのシャトルバスの導入を図る。

○おだか e-まちタクシー車両の入れ替え

- ・おだかe-まちタクシーは利用者の約70%が70歳以上の高齢者が占め、最近では歩行補助器具を使用する利用者が増えている。その対応として荷積みスペースのある車両の導入を図る。

その他実証運行へ向けた検討

○鹿島区にデマンドシステムの導入検討

- ・公共交通サービス利用実態調査
- ・公共交通ニーズの把握、アンケート調査
- ・しあわせ号補助金及びスクールバス運営を見直し

○原町区路線バスの見直し、市街地循環バスの導入検討

- ・公共交通サービス利用実態調査
- ・公共交通ニーズの把握、アンケート調査

○3区を連携する公共交通サービスの検討

- ・公共交通ニーズの把握調査

